

2007年5月11日

日立情報が流通・物流分野のソリューションを強化 フレームワークとの業務提携により、ERP 事業拡大を加速

株式会社日立情報システムズ（執行役社長：原 巖、本社：東京都品川区大崎、以下「日立情報」）は、物流センター管理システム（WMS、注1）の分野で業界トップクラスのシェアを持つ株式会社フレームワークス（代表取締役社長：田中 純夫、本社：静岡県静岡市、以下「FWX」）との業務提携により、流通・物流ソリューションの分野を強化しました。

これにより日立情報は、「SAP ERP」や「TENSUITE」などのERPパッケージと、FWXのWMSパッケージ「iWMS シリーズ」との連携により、電機・電子、自動車関連、化学など流通・物流を伴う業種に向けてERPとWMSの連携ソリューションを拡販し、ERP事業の拡大を加速します。あわせて、日系企業の活発な進出により現地の物流・倉庫管理ニーズが拡大している東アジア（中国・韓国など）への拡販も図り、グローバル展開を一層強化いたします。

流通・物流分野では、東アジア圏を中心とした広域物流の増加をはじめ、電子商取引の拡大、内部統制、ICタグの普及などへの対応のため、物流関連システムの高度化、可視化のニーズが高まっています。また、流通・物流分野のシステムは個別の受注開発が主流であり、特に中堅・中小規模企業ではWMSパッケージのニーズが高まっています。

こうした状況から、日立情報では流通・物流分野に向け得意分野のERP事業を展開することを目的にFWXと業務提携し、流通・物流ソリューションの分野に本格的に参入します。

FWXとの提携分野は以下の通りです。

- ・ERP、WMS、SCM、RFID等を活用したシステム構築
- ・データセンタ、ネットワーク/セキュリティ等のシステム運用
- ・東アジア向けグローバル展開

日立情報はFWXと共同で、上記分野の営業及びSIを、大規模企業から中堅・中小規模企業まで幅広く展開します。大規模企業には「SAP ERP」を、中堅・中小規模企業には「TENSUITE」または「SAP Business One」をFWXの「iWMS シリーズ」と連携させ、海外生産（東アジア）から貿易、日本国内へのデリバリーまでをトータルサポートする流通・物流ソリューションを展開します。また、中国市場では、昨年出資した上海 Covics 社を活用して現地でのSI・サポートを行います。

日立情報では今回のFWXとの業務提携により、互いの得意分野を活かしてサービスの補完・相互拡大を図りつつERP事業拡大を加速させ、2010年度（2011年3月）までに累計35億円、流通・物流分野のシェア30%をめざします。

（注1）WMS（Warehouse Management System）：物流センター管理システムまたは倉庫管理システム。物流センターにおける一連の業務を効率化するための総合管理システム。入出庫管理や在庫管理の他に、労務管理や作業工程管理機能も提供し、入荷、検品、ピッキング、梱包、出荷の各作業に必要な情報を一元的に管理する。

<株式会社フレームワークスの概要>

- (1)商号：株式会社フレームワークス
- (2)代表者：代表取締役社長 田中 純夫
- (3)設立：1991年4月
- (4)本社：静岡県静岡市駿河区
- (5)資本金：612M¥
- (6)従業員数：152名
- (7)業務内容：物流センター・倉庫管理システム（WMS）を中核とするロジスティクスソリューションプロバイダー事業

<報道機関からのお問い合わせ先>

CSR 本部コーポレート・コミュニケーション部 広報・IR グループ 松林
〒141-8672 東京都品川区大崎 1-2-1
TEL 03-5435-5002（ダイヤルイン） e-mail press@hitachijoho.com

以上